

## 第5回審議会における交通の結節点に関する意見概要

## 意見内容（会議概要より抜粋）

## アクセス道路について

1 もし、今後もコンパクトシティを進めるということであれば、**渋滞に対する対応というのは十分に考えていかなければならない**と思う。（猪原委員）

2 審議会の最初の方に、例えばC（西側及び東側用地）などを使った道路については長期的な視点で整備して行くという話があったが、**長期的ではなく、最初に北側からB（青い森セントラルパーク）のエリアへのアクセスを確保することが必要なのではないかと**思う。（猪原委員）

3 例えば地図上（参考の図面）に、アスパム通りからC（西側用地）のところへ向かって矢印がついているが、こういうルートの可能性が実際にあるかは分からず、また、**何百億というお金をかけるということは将来的には必要なかもしれないが、その前に、現時点で、比較的簡便な形で北側とのアクセスを優先的に考えた方がよいのではないかと**思う。（猪原委員）

4 市民あるいは県民だけではなく、青森の玄関口として入ってくる他県からの観光客やその他の方を含め、道路は非常に関連するので高速道路から下りてきたときの**アクセスについては、市内という目線だけでなくもう少し広いところの視野から考えるべき**である。（後藤委員）

5 **北側に関しては、駐車場として使えるような余地はないかと思うが、バスなどが通りやすいような配慮をしていくべきだ**と思う。（野澤委員）

## 公共交通について

6 私はフラットにするか半地下にするかという話は別にして、ここを**交通結節点という形で利活用するのであれば、新駅とそれに至る新しい都市型のバスなどの低炭素型の交通体系を視野に入れた拠点にしてはどうか**と考えている。（野澤委員）

7 私はここに新駅は絶対あって欲しい。**分断されている南側の方々がバスや自家用車で来るだけでなく、青森の新しい時代が求めるべき交通手段のモデルになるようなバスや様々な公共の乗り物を使い継ぐというイメージでの結節点なのではないか**と思っている。（野澤委員）

8 **鉄道とバスがうまく融合する、そのためにターミナルというほどではないが、鉄道とバスを連携できるような機能が非常に大事**になってくると思う。（櫻田委員）

9 新駅のイメージについて、もし駅ができ、2次交通とのバス、循環性などのいわゆる交通結節点機能を高めようとするならば、まず、南側については、**駅の乗り継ぎも含めて、開けたバスターミナル的な機能で、回遊性や利便性を高めることが必要**である。（野澤委員）

10 駅ができてから移動が不便なことが多々あるので、**駅を降りてからのバスなり乗り合いタクシーなどは必要だ**と思う。（佐藤委員）

11 **バスでも鉄道でも共通で使えるような何かカード的なもの**があれば、今の時間は鉄道が便利だが、もう少し違えばバスが便利であるなど、そういう**選択肢も増えてくる**。（佐藤委員）

12 鉄道はバスと違って小回りがきかないので、それを補完する意味でも、バスあるいはタクシーなど、あるいは**何か公共的な施設が作られるのであれば、シャトルバスのようなものを利用することも考えるべき**かもしれない。（三浦委員）

## 第5回審議会における交通の結節点に関する意見概要

## 意見内容（会議概要より抜粋）

## 南北の通路について

13 南の方々だけのバスではなく、**防災ということも含めれば、究極の目的である南北の通しをよくするためには、地下がどこまで通せるのか、自動車が通せなくても、例えば、自転車、歩行者が十分に南北を横断できるような地下道などの整備が回遊性を含めて非常に大事**という意味で、トータルで交通結節点という形にまとめてはどうかと思う。（野澤委員）

14 **駅ができるということは、南北分断されているものがある程度は解消されるということになり、自転車が通れるくらいのものであれば、これは非常に良いことだ**と思う。（櫻田委員）

## その他（防災機能を備えた公園との関連）

15 今日交通結節点という視点からの話だが、忘れてはならないのが、ここは**防災の拠点**とするということだと思う。それが機能で終わるのか施設を作るのかは別にして、**そこへ何かあったときに集まるためのアクセスについては常に念頭に入れて整備していかなければならない**。（三浦委員）

16 将来の計画とは別に、**跡地の利用計画の中に災害という目先の部分を十分に意識したうえで交通網を考えていく必要がある**と思う。（三浦委員）

17 **高いコストをかけないようなイメージで、いざというときには防災にも使えるような公園の駐車場機能というのはいずれ必要であり、それを含めて利便性を高めるということが必要**である。（野澤委員）

## その他（今後の土地利用の考え方について）

18 **今の跡地を少し留保して、20年、30年、さらには100年の大計ということで、全体構想というところをもう一回議論すべきということが意見としては出たが、決して審議会としての意見ではない**ということだと思っている。（野澤委員）

19 私はこの跡地を塩漬けにはしてはいけないと思っているが、**いずれにしてもこの跡地を利用しながら、長い目で見た都市計画をしていく**という考え方である。（種市委員）

20 何十年も先のことを今ここで話をしても仕方なく、そういったことは前から議題になっており、**何年、何十年が経っても、市の方の予算などいろいろなことがあると思うので、操車場跡地の方だけでまとめていく方がいい**と思う。（須藤委員）

## その他（線路の移設について）

21 跡地の利用方法を考えていった場合、今の線路は活かしながらシフトしなければならないことであるので、今、スペースはあるわけで、例えば**北側の方から南の方に線路を移設する**という考え方であれば、**南北をつなげることは可能ではないか**。（森内委員）

22 この図面（参考の図面）では（西側から）**C、C、B、C**とあり、**線路の位置はB（青い森セントラルパーク）の北側にあるが、これを南側に移転したら工事は支障なく進められるのでは**と思う。（木村委員）

23 私も森内委員が述べた**フラット化**というのは**すごく魅力的だと感じており、もちろんそうした大きな話は単年度ではなく、長期的に渡って議論を進めていくべきだ**と思う。（野澤委員）